

# あーばんとーく

平成14年2月号 (通巻 第54号)  
 発行: こうべまちづくりセンター  
 〒650-0022  
 神戸市中央区元町通4丁目2番14号  
 こうべまちづくり会館内  
 電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546  
 URL: <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

## まちのリズム 場所のリズム

昨年、兵庫区の西出町自治協議会が主体となって建設した『まちなか倶楽部\* (西出町歴史資料館)』には、みなさん足を運んでいただけましたか? (\*あーばんとーく平成13年5月号・11月号参照)

完成後は、地元の方による写真展や絵画展、ボランティアで建設に参加した神戸芸術工科大学の学生たちの作品展などが行われ、多くの方が訪れています。また、『まちなか倶楽部』の建設をきっかけに、「うちにもこんなものがあるよ。」という声が聞かれるようになり、家に眠っていた貴重な資料などが、表舞台に上がってきています。では、その後の西出・東出・東川崎地区のまちづくりの様子をお知らせします。

### ◆高田屋嘉兵衛記念碑とポケットパーク◆

“海の豪商”高田屋嘉兵衛が本店を構えた町として知られる西出町だけでなく、隣接する東出町、東川崎町も古くから栄えた町です。神戸の市街地の中では珍しく、歴史をそのまま受け継いだ町並みや伝統ある日本の造船産業を今も見ることができます。

地区の歴史や伝統を活かしたまちづくりを進めようと話し合う中で、「高田屋嘉兵衛本店の地」の記念碑をつくろうという声があがりました。

西出・東出・東川崎地区まちづくり協議会でポケットパーク部会を結成、先に完成した『まちなか倶楽部』に続けとばかりに何度も会合を重ね、計画案を決定しました。



整備イメージ

現在は、3月末の完成に向け整備を進めています。

### ◆『WEBにしでまち』の開設◆

昨年11月、西出町自治協議会は公式ホームページ『WEBにしでまち』を開設しました。人口約1400人の小さな町が町名を冠したドメインを取得し、業者に依頼することなく、住民自らが制作・運営するという、全国的にもまだあまり例を見ない先駆的な試みです。

歴史と伝統を活かすだけでなく、嘉兵衛のもつ進取の精神を受け継いできたことが、新しいまちづくりの取り組みや、今回のホームページの開設へとつながりました。

町の見所や歴史、人物史の紹介のほか、掲示板ではまちづくりに関する意見交換なども行われています。『WEBにしでまち』で情報発信し、地域内外の方と交流



↑トップページはこんな感じ!

を深めることが、地域活性化の足掛かりになると期待しています。みなさんもぜひ訪れてみてください。

URL; <http://www.nishidemachi.jp/>

### ◆まちのリズムを感じて◆

3月21日から24日の4日間、この地区が持つ魅力的な“場”～古い倉庫、神社、空き地、商店街など～を舞台としたアートイベントを行う予定です。

まちづくり協議会と神戸芸術工科大学の学生たちが主催するもので、イベント当日には、“場”を表現する空間として捉えた作品や活動をまちの中に展示することによって、まち自体をギャラリーにしつらえます。

豪華賞品ありのアート・ラリー、映像ショーにファッションショー、伝統文化の兵庫木遣音頭、商店街での名物商品、意外なところにカフェ出現?など、盛りだくさんの内容を企画しています。

みなさんも、このまちのリズム、場所のリズムを感じに出かけてみませんか?

□まちのリズム場所のリズム□ホームページ  
<http://www.kobe-du.ac.jp/env/kawakita/rhythm.html>

(神戸市住宅局地域支援課中部支援担当)

# 春から新しい仲間に出会える

## 神戸婦人大学学生募集中

神戸市では、女性が自らの生き方を発見し、社会参加並びに参画するための基礎的な学習をしていただくために、昭和52年から「神戸婦人大学」を運営しております。

「神戸婦人大学」は、これまでに4,000人を超える卒業生を送りだしております。

### ◆入学資格◆

平成14年4月1日で満65歳未満（昭和12年4月2日以降にお生まれの方）で、神戸市内在住の女性。ただし今までに神戸婦人大学に入学されたことのある方は入学できません。

### ◆募集定員◆

生活福祉学部（コース）	140名
文化スポーツ学部（コース）	140名
消費情報学部（コース）	140名

※入学申込みは、先着順で受け付けます。



講義風景



婦人大学のある建物の外観

### ◆受講料◆

年間23,500円（前期、後期に分けて納付）  
ただし、施設見学の入場料など別途参加費用が必要な場合があります。

### ◆申込み方法◆

「神戸婦人大学 入学案内」に添付の入学願書に必要事項を記入のうえ、返信用封筒（80円切手を添付、宛先明記のこと）を添えて、下記の申込み先まで郵送またはご持参ください。

### ◆申込み先◆

神戸婦人大学事務局  
（〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-3  
神戸市男女共同参画センター3階）

※ 入学案内は、市役所、区役所、支所、出張所、連絡所、区民センター、勤労市民センター、図書館等の市の関係施設で配付しています。なお、入学案内の郵送をご希望の方は、80円切手を同封して神戸婦人大学までご請求ください。

お問い合わせ先

TEL 361-7138（神戸婦人大学事務局）

TEL 322-5179（神戸市市民局生活文化部男女共同参画課）

# 歴史をいかしたまちづくり 2～イタリアでの取り組み～

## ◆レッジョ・エミーリアという都市

今回は、レッジョ・エミーリアの取り組みについて書きます。

レッジョ・エミーリアは、ご存知の方は少ないかもしれませんが、ミラノとフィレンツェの間にあり、ミラノの南東約 150 km に位置する人口 4 万 5 千人程度の小さな町です。イタリアでは、イタリア国旗の発祥の地として有名な都市です。

この都市はローマ時代に司教の城を中心に碁盤目状の区画が形成されました。市街の中心を貫くエミリア街道が他都市と結ぶ主要街道であり、昔も今もまちの主要幹線道路となっています。司教の城とその前の広場は今でもまちの中心として毎週マーケットに利用されています。

ここでチェントロ・ストリコとなっているのは、城壁に囲まれてい



た部分で、この城壁は約 200 年前にイタリアが統合されると同時に取り除かれました。その結果、城壁の外部にもスプロール的に市街地が広がりました。最近では農村景観の大切さも認識されるようになり、歴史的景観、農村景観の両方の景観を守るという観点からまちづくりが進められています。

チェントロ・ストリコに対する取り組みは、1960 年代から始められています。まずまちの保存計画を策定するにあたり、約 3 年間にわたって、市街地全部の建物用途、建物のこれまでの工事内容（増改築等）、住民の属性（家族構成、年齢、職業等）などを詳細に調査しました。この調査をもとに、建物は歴史的価値の認められる順に 6 段階に分けられています。

1970 年代までは、旧市街、新市街を含め、建物



を新築すると税金（固定資産税に相当するもの）が免

除され、これまである家を修復して使う場合は税金を支払う義務がありました。これは建物の新築を奨励するような制度であり、当時は古い家を修復して住もうとするのは、ごく一部の限られた人でした。1980 年代に入ると、歴史的建造物を残すために、修復する場合については税金が免除され、新築すると税金がかかるようになりました。制度が整うにつれて、歴史的建築物保存やまちなみ保存に対する意識も高まってきたそうです。このような制度の充実もまちなみ保存に対する人々の意識啓発には重要です。

## ◆現在の取り組み

このまちでの特徴は、チェントロ・ストリコ内を目的別に歩けるような散策ルートを提案していることです。まちには行政機能をはじめ美術館・博物館などの文化施設、

小売店舗などが集積しています。公共機関や店舗の集まるところが少しづつ離れ

ているため、それぞれを「ショッピングを楽しむコース」や「文化施設を楽しむコース」として設定しています。チェントロ・ストリコ内を目的別に散策し、まち全体を人が歩くことによって、まちなみにも興味を持ってもらうようなしかけとなっています。

車社会を反映して、郊外に大規模なショッピングセンターがつけられ、食料品などの生活必需品は、ほとんどがそこで揃います。市街地では服飾などの限定された小売店舗が集まる形態となっています。郊外型店舗と市街地の店舗では、内容的にかなりすみわけはされていますが、いかに魅力を出して買物に来てもらうかがチェントロ・ストリコ内の商店の課題となっています。

歴史的まちなみは、残すだけでなく、時代にあった取り組みを提案することによって、まちの活性化や人々の意識啓発にもつながってくると実感したまちでした。

いちのが やすこ  
一岡 泰子（都市計画局まちづくり支援室）

# まちセン ライブラリーニュース

こうべまちづくりセンター図書室  
 まちづくり会館 4階・Tel. 361-4523  
 開館時間 午前10時～午後6時  
 休館日 水曜日・年末年始

## 新着図書のご紹介

名称	著者名	発行元	発行年月
ヨーロッパの家(2)	樺山紘一(監修) 和田久土(写真)	(株)講談社	00年9月
ヨーロッパの家(3)	樺山紘一(監修) 和田久土(写真)	(株)講談社	00年9月
ヨーロッパの家(4)	樺山紘一(監修) 和田久土(写真)	(株)講談社	00年11月
大都会再生の戦略	額賀福志郎、小澤一郎、 尾島俊雄(編)	早稲田大学出版部	00年5月
現在経済政策シリーズ7 地域開発政策と持続的発展	小田清	(株)日本経済評論社	00年6月
都市経済学の基礎	佐々木公明、文世一	(株)有斐閣	00年5月
民家・町並み探訪事典	吉田桂二	東京堂出版	00年9月
運輸白書(平成11年度)	運輸省	大蔵省印刷局	00年1月
都心活性化地図	成戸寿彦、青山	(株)かんき出版	00年5月

当センターにふさわしい図書・資料をご紹介ください。

## まちづくり会館からのお知らせ

### こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期間	内容・テーマ	主催者
2月7日(木)～12日(火)	R展 第12回展(アクリル画等)	森 治子
2月14日(木)～19日(火)	仁影会写真展	緒方 しげを
2月28日(木)～3月5日(火)	ぐるーぷひらの展(油彩)	ぐるーぷひらの

### こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

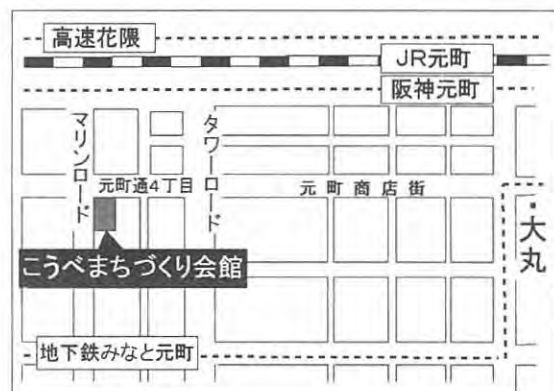
2月1日(金)～28日(木)	2002 FIFA ワールドカップ ホストシティポスター展	教育委員会 ワールドカップ推進室
----------------	----------------------------------	---------------------

### すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター  
(こうべまちづくり会館 3F)  
電話 078-361-4377 FAX 078-361-4584  
受付は、月・火・木・金曜の午前10時～午後5時
- 土・日・祝日は  
事前にご連絡ください。

### 自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)  
会報等の印刷サービスや自治会の相談(インストラクター派遣など)  
受付:午前10時～午後6時(水曜・年末年始は休館)  
電話 078-361-4565



### 最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分  
 高速花隈駅東口から3分  
 高速西元町駅東口から5分  
 JR・阪神元町駅西口から8分